

令和8年度 病害虫発生予察情報

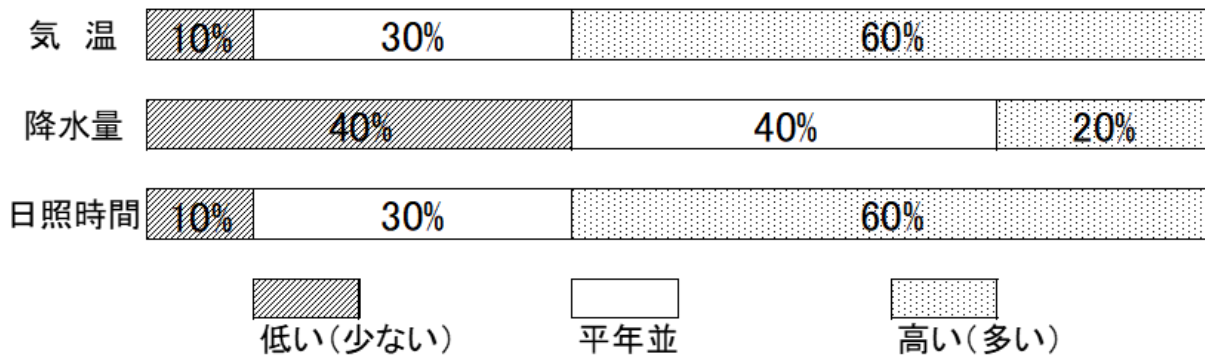
発生予報第8号（10月）

令和8年10月2日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	炭疽病	やや多い～多い
野菜	キャベツ	カメムシ類	平年並
		黒腐病	少ない
	アブラナ科野菜	菌核病	少ない
		コナガ	平年並
		ハスモンヨトウ	平年並

中国地方1か月予報(10月3日～11月2日・広島地方気象台10月1日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 果樹

1) カキ

(1) 炭疽病

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや多い～多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査（8ほ場調査）では、発生ほ場率は37.5%（平年5.0%）と過去10年で最も多く、発病果率は0.75%（平年0.2%）と過去10年で2番目に多い。

②10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

注））令和8年度 病害虫発生予察情報 注意報 第4号参照

(2) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月第1半旬から第6半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は288頭（平年527.4頭）と発生量はやや少ない。

② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は、5.1%（平年2.9%）と平年に比べてやや多い。

③10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

①9月下旬の巡回調査では、発生は確認されておらず（平年発生ほ場率 3.2%）、発生量は平年並みである。

②ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生量は、平年並みと予想されている。

③10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

①9月下旬の巡回調査では、発生は確認されておらず（平年発生ほ場率 0.9%）、発生量は平年に比べて少ない。

②10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

①9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は県東部で 0.0%（平年 10.5%）、寄生株率は 0.0%（平年 2.3%）発生量は平年並みである。

②10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

①県内のアブラナ科ほ場において発生を確認している。

②9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は県東部で 0.0%（平年 31.2%）、寄生株率は 0.0%（平年 6.2%）、発生量はやや少ない。

③7月以降のフェロモントラップによる累積雄成虫誘殺数は、県東部で 752 頭（平年 1135.9 頭）と平年並み、県西部で 412 頭（平年 877.6 頭）とやや少ない。

④10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

島根県病害虫防除所

（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）

〒693-0035 出雲市芦渡町 2440

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページアドレス

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/

e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp